



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社電業社機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6365 URL <https://www.dmw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村林 秀晃

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席常務執行役員 管理本部長 (氏名) 彦坂 典男

TEL 055-975-8221

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,455	4.3	△99	—	△20	—	29	—
2020年3月期第2四半期	6,189	9.3	△547	—	△465	—	△338	—

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 14百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △353百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	6.88	—
2020年3月期第2四半期	△78.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	24,567	18,831	76.7
2020年3月期	27,251	19,199	70.5

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 18,831百万円 2020年3月期 19,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2021年3月期	—	45.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	55.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注)2021年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当42円50銭 記念配当2円50銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	9.3	2,300	33.3	2,450	33.6	1,750	37.6	411.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	4,776,900 株	2020年3月期	4,776,900 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	546,174 株	2020年3月期	480,927 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	4,274,215 株	2020年3月期2Q	4,296,178 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.2020年8月7日に公表しました通期連結業績予想を修正しています。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示する科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が続く中、各国における感染拡大抑制策の段階的な緩和と経済対策等の効果により最悪期を脱し、徐々にではあるものの持ち直しの動きが見られました。他国に先駆けて経済活動を再開した中国では景気の回復傾向が持続し、欧米も景気の大幅な落ち込みの後、経済活動の再開等により持ち直してきましたが、感染再拡大の動きがあることなどから、回復ペースの鈍化が懸念されます。わが国経済においては、緊急事態宣言により大きく落ち込んだ個人消費が経済対策の効果等によって徐々に上向き、また製造業を中心に輸出に持ち直しの動きが見われましたが、景気の回復ペースは緩やかなものに留まっています。

このような中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間における受注額は、官需部門、国内民需部門および海外部門それぞれで大型案件を受注するなど好調に推移したことから、同様に大型案件の受注が好調であった前年同期並みの127億46百万円(前年同期比95.1%)となりました。売上高につきましては、官需部門と海外部門が前年同期に比べて増加したことから、64億55百万円(前年同期比104.3%)となりました。利益については、前年同期に比べて利益率の良い案件が多かったことなどから、営業損失99百万円(前年同期営業損失5億47百万円)、経常損失20百万円(前年同期経常損失4億65百万円)と各損失ともに大幅に減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失3億38百万円)と大きく改善しました。

なお、当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する傾向があり、四半期別の業績には季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、26億84百万円減少し245億67百万円となりました。これは、現金及び預金の増加27億64百万円、仕掛品の増加10億91百万円などがあったものの、受取手形及び売掛金の減少68億95百万円などがあったことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比べ、23億16百万円減少し57億35百万円となりました。これは、前受金の増加4億79百万円などがあったものの、支払手形及び買掛金の減少19億22百万円、未払法人税等の減少5億39百万円などがあったことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ、3億67百万円減少し188億31百万円となりました。これは、自己株式の取得による減少1億89百万円、利益剰余金の減少1億63百万円などがあったことによるものです。

この結果、自己資本比率は、76.7%(前連結会計年度末70.5%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より27億69百万円増加して、100億95百万円(前年同期82億93百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億23百万円の増加(前年同期13億52百万円増加)となりました。これは、仕入債務の減少19億22百万円、たな卸資産の増加10億96百万円、法人税等の支払額5億7百万円などの減少要因はあったものの、売上債権の減少68億68百万円、前受金の増加4億79百万円などの増加要因が多かったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億59百万円の減少(前年同期2億85百万円減少)となりました。これは、有価証券及び投資有価証券の売却による収入1億6百万円などの増加要因があったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出3億54百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出2億円などの減少要因が多かったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億89百万円の減少(前年同期2億38百万円減少)となりました。これは、配当金の支払額1億93百万円、自己株式の取得による支出1億89百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの受注につきましては、2020年8月7日公表の前回予想と同じ200億円となる見込みです。

2021年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は前回予想と同じ215億円となる見込みです。利益につきましては、きめ細かい営業活動により、当社グループの技術力を活かせる案件を受注できたことに加え、生産本部における設計の最適化、出図工程の早期化及び生産工程の改善による生産性向上並びに調達改善による原価低減効果が見込まれることから、営業利益23億円、経常利益24億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益17億50百万円と、前回予想からそれぞれ増加する見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,358	10,122
受取手形及び売掛金	12,210	5,315
電子記録債権	14	40
仕掛品	1,184	2,276
原材料及び貯蔵品	102	110
その他	200	273
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	21,070	18,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,365	2,307
その他(純額)	1,182	1,383
有形固定資産合計	3,547	3,691
無形固定資産	149	157
投資その他の資産		
投資有価証券	2,008	2,128
繰延税金資産	215	180
その他(純額)	293	304
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	2,483	2,579
固定資産合計	6,180	6,428
資産合計	27,251	24,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,607	2,685
未払法人税等	568	29
前受金	992	1,471
受注損失引当金	244	191
製品保証引当金	37	31
役員賞与引当金	72	53
その他	1,217	998
流動負債合計	7,740	5,460
固定負債		
退職給付に係る負債	221	188
繰延税金負債	1	3
その他	88	82
固定負債合計	312	275
負債合計	8,052	5,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	810	810
資本剰余金	111	111
利益剰余金	18,883	18,719
自己株式	△838	△1,027
株主資本合計	18,966	18,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	595	561
繰延ヘッジ損益	△7	△0
為替換算調整勘定	△160	△167
退職給付に係る調整累計額	△194	△174
その他の包括利益累計額合計	232	218
純資産合計	19,199	18,831
負債純資産合計	27,251	24,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,189	6,455
売上原価	5,326	5,162
売上総利益	863	1,292
販売費及び一般管理費	1,410	1,392
営業損失(△)	△547	△99
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	57	51
受取賃貸料	34	34
その他	7	10
営業外収益合計	102	98
営業外費用		
賃貸費用	8	8
支払保証料	5	3
その他	6	6
営業外費用合計	21	18
経常損失(△)	△465	△20
特別利益		
投資有価証券売却益	—	77
特別利益合計	—	77
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△465	57
法人税、住民税及び事業税	2	△3
法人税等調整額	△129	31
法人税等合計	△127	27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△338	29
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△338	29

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△338	29
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△33
繰延ヘッジ損益	△7	6
為替換算調整勘定	△28	△7
退職給付に係る調整額	12	19
その他の包括利益合計	△14	△14
四半期包括利益	△353	14
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△353	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△465	57
減価償却費	216	210
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	△4
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△46	△19
受注損失引当金の増減額(△は減少)	36	△53
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△11	△6
受取利息及び受取配当金	△60	△53
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産処分損益(△は益)	5	2
為替差損益(△は益)	0	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△77
売上債権の増減額(△は増加)	5,252	6,868
たな卸資産の増減額(△は増加)	△271	△1,096
その他の資産の増減額(△は増加)	△176	△61
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,379	△1,922
未払消費税等の増減額(△は減少)	△117	△112
前受金の増減額(△は減少)	116	479
その他の負債の増減額(△は減少)	△283	△133
小計	1,832	4,077
利息及び配当金の受取額	60	54
法人税等の支払額	△540	△507
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,352	3,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△93	△28
定期預金の払戻による収入	46	33
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△100	△200
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	301	106
有形固定資産の取得による支出	△424	△320
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△21	△34
貸付けによる支出	△0	△11
貸付金の回収による収入	1	1
投資その他の資産の増減額(△は増加)	4	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285	△459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7	△6
自己株式の取得による支出	△58	△189
配当金の支払額	△172	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238	△389
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	820	2,769
現金及び現金同等物の期首残高	7,472	7,326
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,293	10,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

当社グループは、風水力機械の製造・据付・販売を専ら事業としており、製品の性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

期別 部門区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
連結 受注 高	官需部門	9,398	70.1	7,968	62.5	18,841	73.4
	国内民需部門	1,776	13.3	1,835	14.4	3,680	14.3
	海外部門	2,231	16.6	2,941	23.1	3,153	12.3
	計	13,406	100.0	12,746	100.0	25,675	100.0
連結 売上 高	官需部門	3,505	56.6	3,880	60.1	13,233	67.3
	国内民需部門	1,807	29.2	1,511	23.4	4,304	21.9
	海外部門	876	14.2	1,063	16.5	2,136	10.8
	計	6,189	100.0	6,455	100.0	19,674	100.0
連結 受注 残高	官需部門	13,426	63.2	17,229	65.4	13,141	65.6
	国内民需部門	4,355	20.5	4,087	15.5	3,762	18.8
	海外部門	3,474	16.3	5,015	19.1	3,136	15.6
	計	21,256	100.0	26,331	100.0	20,040	100.0

(注) 金額は販売価額によっており、消費税等は含まれていません。